姫路ゆかりの偉人たち

第二巻



Social Eight

姫路ゆかりの偉人たち

第二巻



Social Eight

漫画 『姫路ゆかりの偉人たち』 第二巻 創刊のごあいさつ



「姫路」の名の由来は、播磨国風土記に出てくる「日女道丘」からきています。
400年の歴史をもつ世界遺産姫路城を中心に、発展してきたこの姫路地域では、
文化人、実業家、政治家、芸術家、医師、様々な分野で活躍された人物が誕生しております。

一般社団法人 Social Eightでは、「姫路ゆかりの偉人たち」の漫画の制作を企画し、
広く伝承していく活動をスタートし、2024年度については　姫路市提案型協働事業
（協働相手方:政策局ひめじ創生戦略室）として実施しました。

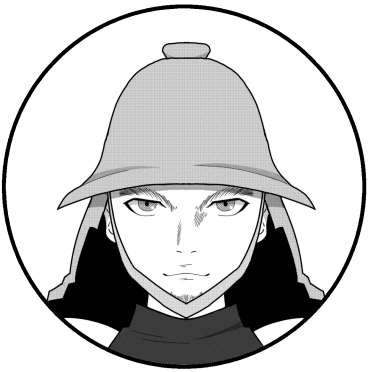
第一巻 では、「 原爆症研究の父 」である初代名誉市民「都築正男」氏を漫画にしました。引き続き、第二巻では、「 戦後復興の父 」と呼ばれ、姫路の街の礎を築いた最後の官選市長として、名誉市民第二番目である「石見元秀」氏の漫画とともに8人の偉人たちを紹介しております。

この活動では、「 歴史の普及と興味喚起 」「 文化・伝統の継承 」「 ヒーローの創造と共感 」「 観光・地域振興 」を目的としており、Social Eight が主催する 「 Himeji 城育 」 の中にある地域探求講座から生まれました。さらに、出来上がった漫画本は、広くデジタルや公共の場を通して、より多くの人に読んでもらうことを狙いとしており、少しでもお役に立つのであればという想いの中、共感いただける方々と協力して制作してまいりました。未来世代にもその影響や教訓を伝えていくことで「シビックプライド」が生まれ、誇りとなっていくことを願っております。

「Himeji城育(しろいく)」
世界遺産　姫路城をモデルにした、SDGsの理念である「誰一人とりのこさない」ことをテーマに、親子で学べる講座を展開しています。未来教育を、共創パートナーとともに展開していきます。
グローカル（グローバル＆ローカル）人材」の育成として、「探求する力」「社会参画する力」「創造する力」「共創する力」「自己突破する力」を 身につけることを目指します。

一般社団法人 Social Eight　代表理事
松尾 礼

希代の軍師



黒田　官兵衛　（くろだ・かんべえ）
1546（天文15）年～1604（慶長9）年

名は孝高(よしたか)。祖父の代に備前福岡(現岡山県長船町)から播磨入り。父が城主だった姫路城生まれとされる。信長勢の中国攻めの際、主家の小寺政職(まさもと)に秀吉への合力を勧める一方、秀吉に自らの姫路城を無償で献上。本能寺の変後、秀吉に天下取りを進言、奇跡の中国大返しを敢行させた。大胆な発想と行動で「希代の軍師」と呼ばれる。豊前中津城主から、福岡城へ・筑前黒田藩52万石の祖。号如水。



フランス柔道の父

川石　酒造之助（かわいし・みきのすけ）
1899(明治32)年～1969(昭和44)年

姫路市に生まれ、姫路中学校(現姫路西高)から早稲田大学を経て欧米へ渡り、1935年からフランスで柔道指導にあたった人物です。技名をフランス語化し番号で整理する、技量に応じた「級」制度と帯の7色化など、画期的な“川石方式”を考案し、フランス柔道の礎を築きました。彼の功績は現在も評価され、2021年東京五輪でフランス代表が姫路で合宿したのも、川石との深い縁によるものです。

日本の物理学基盤を築いた研究者



荒勝　文策（あらかつ・ぶんさく）
1890(明治23)年 -1973(昭和48)年

兵庫県姫路市的形出身の原子核物理学者で、日本の原子核研究を切り開いた先駆者です。京都帝国大学で研究を進め、台北帝国大学ではアジア初のコッククロフト・ウォルトン型加速器を製作し、日本人として初めて原子核人工変換に成功しました。帰国後は京都帝大教授としてサイクロトロン建設に尽力し、戦時下では海軍の原爆研究「F研究」を主導。戦後は甲南大学初代学長を務め、学術界の発展にも貢献しました。



流通の原点を築いた革新の実業家

二木　一一（ふたぎ・かずいち）
1909(明治42)年～1980(昭和55)年

「イオン」の礎を築いた二木一一は、1909年に姫路市で生まれました。
スーパーマーケットのフタギを創業した彼は、国内外の大資本に対抗するため、他県の競合(大阪のシロ、三重の岡田屋)と対等に手を取り合い、共同仕入会社(後のイオン)を作りました。これは当時の常識を打ち破る画期的な出来事でした。
地元で「播磨の今太閤」と親しまれた彼の座右の銘は「熱と誠」。情熱と真心で「共に成長する」という姫路発の心は、今も日本中の豊かな暮らしを支えています。

『播磨灘物語』などの歴史作家



司馬　遼太郎（しば・りょうたろう）
1923(大正12)年～1996(平成8)年

本名は福田定一。祖父の代まで姫路・広畑在。大阪外大蒙古語科卒。
産経新聞記者の傍ら寺内大吉と同人誌『近代説話誌』を創刊。『梟(ふくろう)の城』で直木賞、翌1961(昭和36)年から文筆に専念。『竜馬がゆく』で菊池寛賞を受賞したほか『国盗り物語』『菜の花の沖』『播磨灘物語』など、雄大な構想と巧みな語り口で読者を魅了した。姫路文学館に司馬遼太郎コーナーが設けられている。
93(平成5)年、文化勲章を受章。



戦後を代表する映画監督

浦山　桐郎（うらやま・きりお）
1930(昭和5)～1985(昭和60)

相生市生まれ。姫路中(現姫路西高)、旧姫路高校から名古屋大学文学部卒。
1954(昭和29)年、日活入社、今村昌平門下に。話題作「キューポラのある街」(吉永小百合主演)で監督デビュー。寡作「非行少女」「私が棄てた女」「夢千代日記」など作品は9本だけ。しかし若者の直面する社会や人生の問題を直視し、確かなリアリズムで戦後を代表する監督の一人に。

昭和歌壇に確かな足跡を残した姫路ゆかりの歌人



初井　しづ枝（はつい・しづえ）
1900(明治33)年～1976(昭和51)年

姫路出身。大正～昭和期に活躍した歌人です。結婚後に作歌を始め、
大正15年に短歌雑誌「日光」に参加し北原白秋に師事しました。「短歌民族」
「多磨」などで同人活動を重ね、「女人短歌」「コスモス」創刊にも関わるなど歌壇
で重要な役割を果たしました。代表歌集に『花麒麟』『藍の紋』『白露虫』『冬至梅』
があり、昭和46年には『冬至梅』で読売文学賞(詩歌俳句賞)を受賞。女性の視点
と繊細な感性を湛えた作品は高く評価され、姫路の初井家住宅に暮らした縁から
書写には歌碑も残されています。

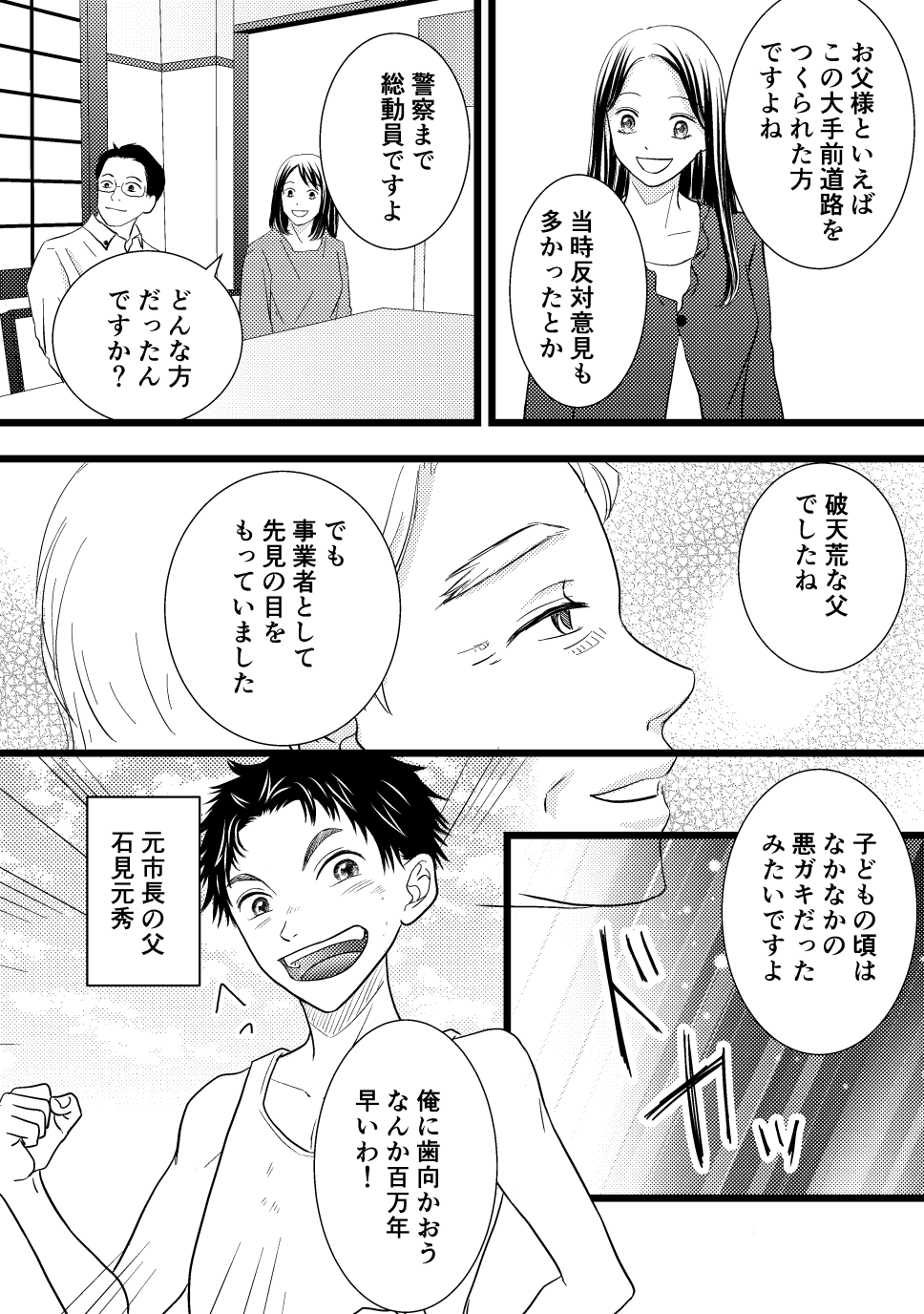


戦後の復興と都市発展を力強く牽引した名市長

石見　元秀（いわみ・もとひで）
1900(明治33)年～1976(昭和51)年

旧制姫路中学校(現在の姫路西高)卒業、戦後の姫路市復興を牽引した市長で、
官選期から公選期まで通算5期にわたり市政を担いました。焦土となった姫路の
再建に尽力し、大手前通りの整備、姫路駅周辺の都市基盤づくり、図書館・
動物園・大学誘致、そして姫路城昭和大修理など多くの事業を推進。
市民生活の向上と都市の未来像を描き続け、姫路の発展に大きな足跡を残しました。


石見元市長
活気があってさらに美しくなりました
姫路の駅前もだいぶ変わりましたね
石見利勝元市長
16年間の市長期間大変でしたか？
まぁそれなりに…ね
でも父が創りたかった街を
僕もみたいと思っていましたから
戦争の中空襲にあってもしっかり残ってくれた
姫路城を象徴とするこの街を——
石見元秀ものがたり
～戦後復興の父～

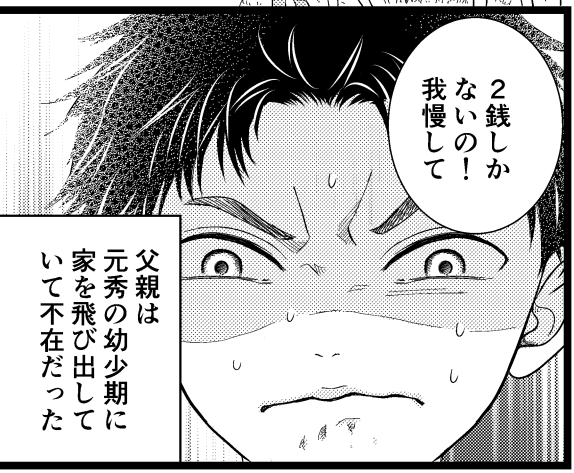

お父様といえば
この大手前道路を
つくられた方
ですよね
当時反対意見も
多かったとか
警察まで
総動員ですよ
どんな方
だったん
ですか？
破天荒な父
でしたね
でも
事業者として
先見の目を
もっていました
子どもの頃は
なかなかの
悪ガキだった
みたいですよ
元市長の父
石見元秀
俺に歯向かおう
なんか百万年
早いわ！

明治33年5月8日
飾磨郡余部村飾西
（現・姫路市飾西）
に二男一女の長男
として誕生

後にこの男が
姫路の街を
大きく変える
ことになる







父親は
元秀の幼少期に
家を飛び出して
いて不在だった

※一銭はかつて日本で使われた1円の100分の1に相当する通貨単位






堪忍や
お…母ぁ…
うそやろ…
だって俺も
素麺の束ねの
内職してるやん
俺もこの家を
支えてる
思てたのに――
…すまん


すまん
お母ぁ…
俺…
何も分かってへん
かったんやな
…元秀？
まっとって
くれ！
これからは
俺がもっと
稼いだるっ
絶対大金持ちに
なったるからな！
くそっ！
クソ——!!


絶対俺がお母を守るんやぁ！
ダダダダ
大変や！
隣村の奴らがケンカふっかけてきよったぞ！
どこや！
俺の村を荒らすな！
畜生！
俺が全部いてもうたるわいっ！
うわ元秀やばっ

今に見とれよ！
絶対大物に
なったるからな！

元秀小学4年生の
出来事であった

その後
父が家に戻り
元秀は姫路中学
(現姫路西高)を
卒業した

※請負師：土木・建築工事などの請負を職業とする人
(現場の管理や進行を円滑に行うために人材を扱う)

元秀23歳

故郷を離れ
どんな人間も
使いこなす統率力と
包容力を持ち合わせ

請負師として才能を
開花させていた

兄貴！
本当にここ
やめるんですか

俺も兄貴に
ついていく！

俺は行くで

満州

満州で
一旗上げるんや！

そして26歳で
故郷にて妻を迎え
合資会社石見組を
設立し

満州の地に
降り立った

新京建設で
活気があるわ
満州は

さあ
何の商売したら
儲かるんか…

ん？

これや！

元秀は建設に必要な
砂利の資源が少ない
ことに目を付け
砂利会社を設立

銀行と手を組み
鉄道を敷き
どんどん運び入れた

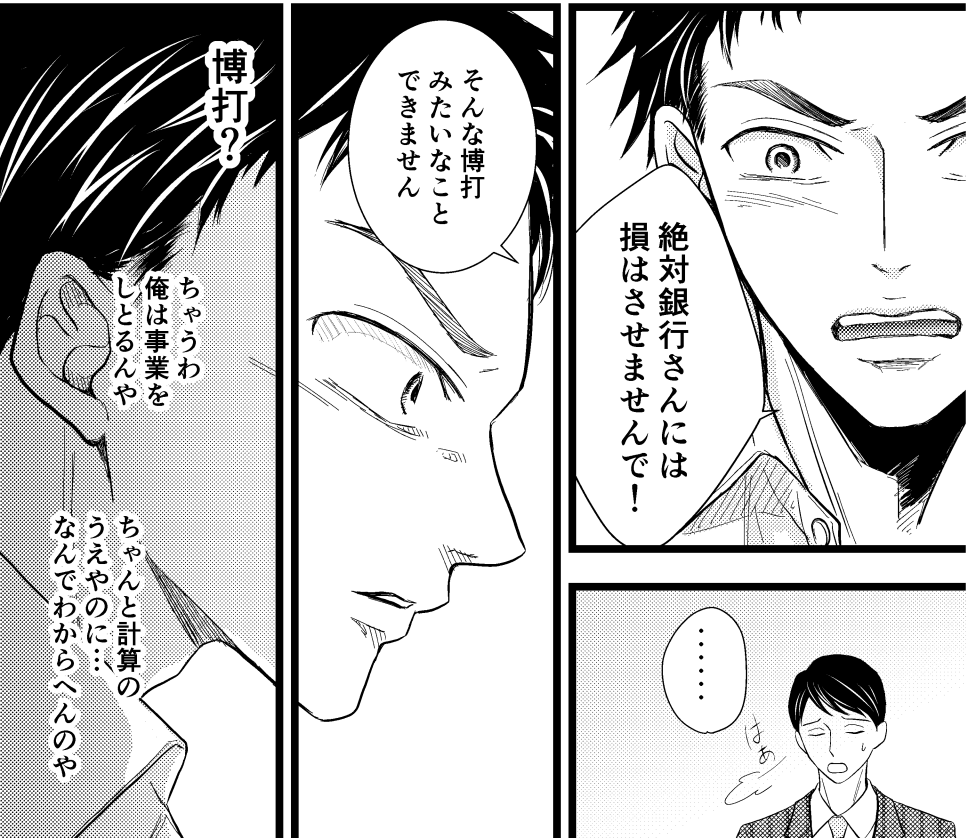
ほれみろ！
ガンガン売れるわ

なんだあいつ…

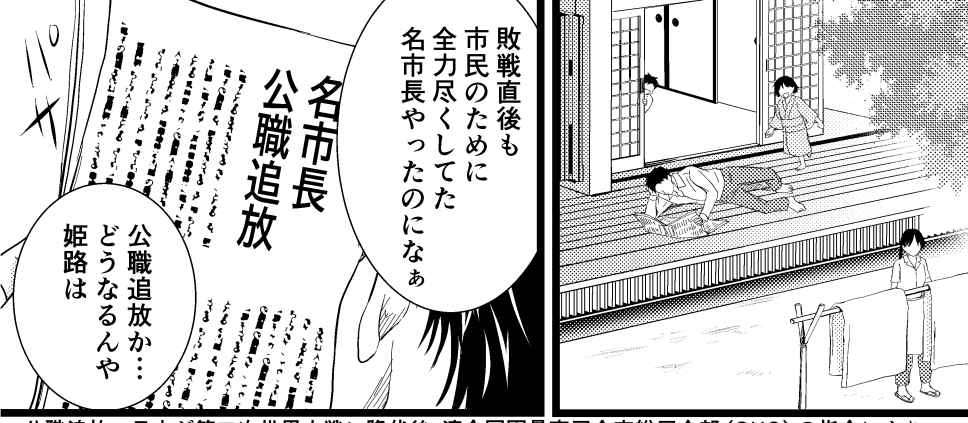
同業の邪魔
俺ら
しやがって



※ダンピング：不当に安く商品を販売すること




くそう
元秀は2年余りで撤退
その後また満州に渡り森林開発事業をスタートさせたが
日本の戦況が不利になると同時に
日本人虐殺事件が多発し夢半ばで引き上げることになった
昭和20年8月
敗戦
満州で2度に渡って大事業を施したものの
なくなったなあなーんも
残ったものは2百人ほどの社員を持つ石見興行と少しばかりの農園だけだった



公職追放：日本が第二次世界大戦に降伏後、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の指令により、特定の関係者が公職に就くことを禁止された





これが20年にわたる
石見元秀市政の
幕開けであった

市庁舎

何が名ばかりか・・・
やることが多すぎるぞ

くそぅ・・・

石見元秀市長

俺がやらな何も
動かん・・・

そやけど
仕事もない
食料もない市民
が大勢おる

そのうえ
治安も良くない
・・どうしたら
街が元気に
なるんや

あ！

市バスを
走らせる？

いい案ですが・・・

そう簡単に
運輸省からの許可は
おりませんよ

俺に
いい案がある！

元秀はトラックを
買い集めホロを
かぶしてバスにし

無料で市民を
乗せて走らせたのだ

許可してないぞ！
何勝手な事
しているんだっ

運輸省

いや何

姫路市は市民
サービスとして
トラックを走らせてる
だけですよ

わはは

その後運輸省は
姫路市の粘りに
敗けて
姫路市営バスが
発足した

こんな型破りな
やり方あり
かいな…

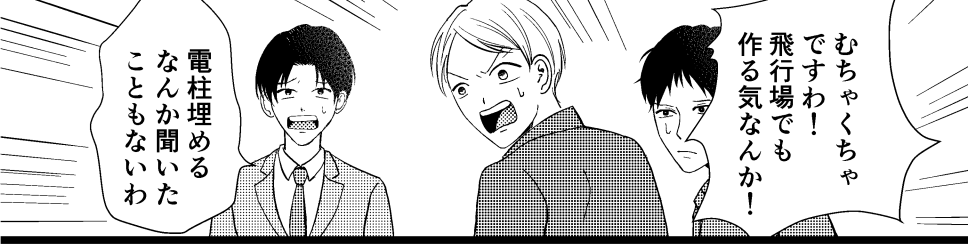
つくったる

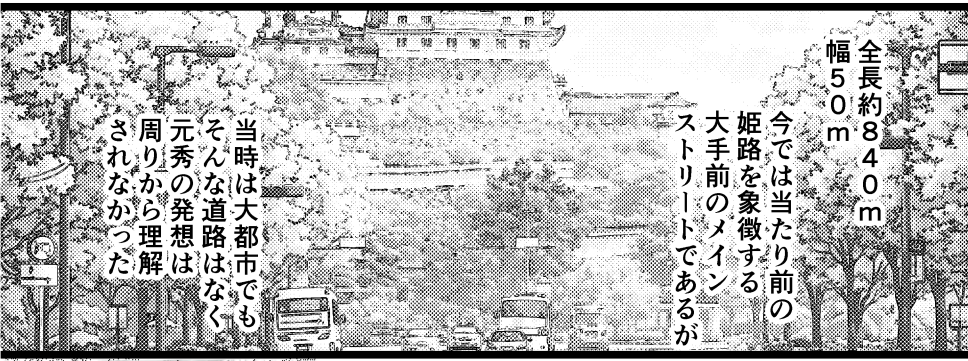
みんなが笑って
暮らせる街を！

もう

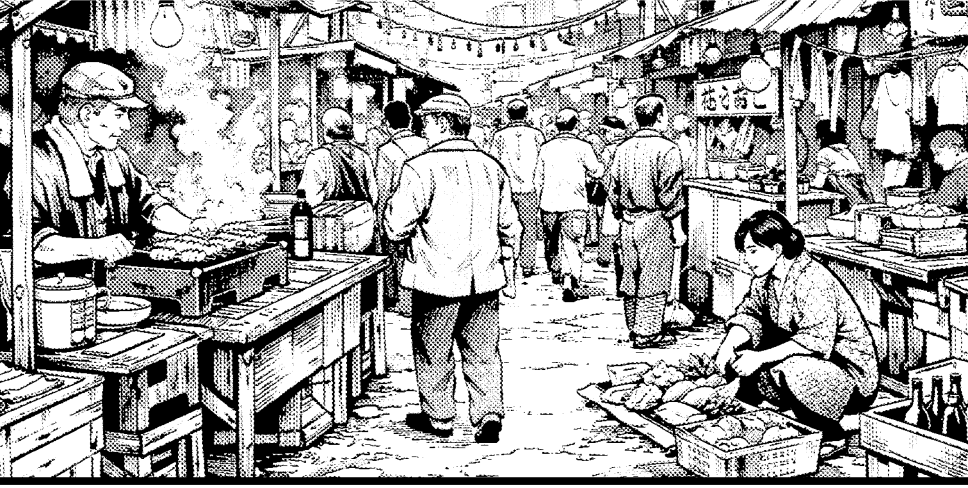
辛い顔は
見たくない


そして
2期目に入り
は？
市長！
今なんて…
幅50メートルの
道路を造る
きゅっ
駅と姫路城の
間に
景観を守るために
電柱は地下に
埋めるんや！
外から人が
流れてきたら
財源が潤う！


むちゃくちゃですわ！
飛行場でも作る気なんか！
電柱埋めるなんか聞いたこともないわ


全長約840m
幅50m
今では当たり前の姫路を象徴する大手前のメインストリートであるが
当時は大都市でもそんな道路はなく元秀の発想は周りから理解されなかった


ただ復旧するだけやあかん！
未来を見据えた街づくりをせなあかんのや！
……
言うたかてあの辺一帯…
闇市やんか




にぎわっとるけど
やっぱり柄悪いな
これじゃあ
よそから来ようと
思わんわ

なんじゃ
お前
ゴラァ
ヤクザまがいの
もんがおって
もろたら困る

ここで
商売するんは
不法や！

ここに
でかい道路造る
から早よ出ていけ！

なんやと
コラァ！

反対市民たちは
元秀の計画の
最大の壁となり

警察が元秀の
警備につくほどに
姫路の街は
殺伐としていた

闇市なくなったら
ワシらどうやって
食っていけば
ええんや！

住むとこも
ないやんか！

商売できるところは
ちゃんと他に提供
する！

だから皆で
つくろうやないか！
白鷺城を象徴とする
活気のある最先端の
街を！

この大がかりな区画整理は
困難を極めたが
元秀は未来だけを見据え
昭和24年9月に着工

5年半の歳月を経て
昭和32年2月に完成

大手前通りの東西に
坊火帯を作る目的で
戦争災害復旧事業として
認められ

世界銀行が出資し
戦後復興債という基金で
整備された

これが新しい
姫路…

すごい賑やかに
なってきたな

ゼロからでも
作れるんや
みんなで！

これからどんどん
変わるぞ！
この街は

元秀は
この50ｍ道路をはじめ

第四期以降には
名古山霊苑仏舎利塔の
建設や姫路市交通局
モノレール線の開通

姫路大博覧会の
開催等を手掛けた

8年で廃線して
しまったが
ビルの中を走る
モノレールの構想など

※全国戦災都市連盟（現在の財団法人太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会）

20年間に渡り
斬新で先見的な
アイデアを
数々うちだした

6期目で
落選したものの

この功績を称え
次期の吉田市長から
称された

都築正男に続き
二人目の名誉市民で
あった

1976年（昭和51年）
1月15日
病気のため死去

昭和22年
全国で被災した
113自治体に呼びかけ
全国戦災都市連盟を結成し
その組織の取りまとめ役を
担っていた

昭和31年に手柄山に
慰霊塔が建立され
毎年10月26日に
太平洋戦全国空爆
犠牲者追悼平和祈念式が
開かれている

※113自治体：戦災復興事業都市として国の指定を受けた東京都と99市・13町

人々の笑顔を
守りたいという

石見元秀の
平和を願う想いが

折り鶴とともに
現在も紡がれている

Social Eight

【参考・参照文献】

神戸新聞社「播磨ゆかりの50人」

神戸新聞社「学校人脈　姫路中学・姫路西高」

神戸新聞社「BanCul」

愛郷のひと　石見元秀

本書の収録内容の無断転載、複製、複写(コピー)、引用は著作権上での例外を除き禁じられています。

Social Eight

漫画『姫路ゆかりの偉人たち』第二巻

戦後復興の父　石見 元秀　物語

【配　信】 令和8年(2026)年8月8日　デジタル配信
【初　版】 令和8年(2026)年8月8日　印刷・発行
【出版元】一般社団法人 Social Eight

【Social Eight 実行委員会】
・一般社団法人 Social Eight 代表理事 松尾 礼
・エルザ動物病院グループ　代表取締役社長 長谷 宜勇
・菅尾・岩見法律事務所　弁護士　岩見 和磨
・日東社　専務取締役　大西 潤

【製　作】 一般社団法人Social Eight 実行委員会
・(マンガ作画)「アートエ房　菜」 赤木 智菜美
・(イラスト) まんが道場菜スクール生
・(編集) 一般社団法人 Social Eight 松尾 礼
・(英訳) ワールドパル学院　小松 利香子

【相談役】
・空地 顕一　空地内科院院長 / 白城会理事長 / 兵庫県医師会名誉会長
・山下 裕史　117グループ代表 / 姫路市教育委員会委員

【協　賛】
ノアインドアステージ 株式会社 / 株式会社 銀ビルストアー
株式会社 エルザクライス(エルザ動物病院グループ)
117グループ あっぷる / 株式会社 茨木金属商会
株式会社播磨リビング新聞社 / 姫路信用金庫
株式会社西松屋 呉服 / 菅尾・岩見法律事務所 / Sakuraya

＜姫路市教育委員会後援＞
第一巻「原爆症研究の父　都築正男」は、姫路市提案型協働事業を活用しています。

（問い合わせ）

一般社団法人 Social Eight
https://social-eight.com/


Social
Eight